

平成30年12月美馬市議会定例会議事日程（第4号）

平成30年12月18日（火）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第70号 美馬市下水道事業の設置等に関する条例の制定について
議案第71号 美馬市簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
議案第72号 美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第73号 美馬市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について
議案第74号 美馬市立幼稚園条例の一部改正について
議案第75号 美馬市立認定こども園条例の一部改正について
議案第76号 平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）
議案第77号 平成30年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第78号 平成30年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第79号 平成30年度美馬市水道事業会計補正予算（第2号）
議案第80号 学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議について
議案第81号 美馬西部学校給食センター組合の解散について
議案第82号 美馬西部学校給食センター組合の解散に伴う財産処分について
議案第83号 工事請負契約の変更について
議案第84号 美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定期間の変更について
議案第85号 美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定について
議案第86号 美馬市脇町西部デイサービスセンターの指定管理者の指定について
議案第87号 美馬市美馬デイサービスセンター等の指定管理者の指定について
議案第88号 木屋平特産物販売センターの指定管理者の指定について
- 日程第 3 請願第 1号 独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願書について
- 日程第 4 発議第 2号 独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書について

日程第 5 閉会中の継続調査について

平成30年12月美馬市議会定例会会議録（第4号）

◎ 招集年月日 平成30年12月18日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時10分

◎ 出席議員

1番	田中みさき	2番	立道 美孝	3番	藤野 克彦
4番	都築 正文	5番	田中 義美	6番	中川 重文
7番	林 茂	8番	武田 喜善	9番	郷司千亜紀
10番	井川 英秋	12番	久保田哲生	13番	片岡 栄一
14番	原 政義	15番	川西 仁	16番	谷 明美
17番	前田 良平	18番	武田 保幸		

◎ 欠席議員

11番 西村 昌義

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	加美 一成
副市長	七條 浩一
戦略監	浅野誠一郎
企画総務部長	吉田 貞伸
保険福祉部長	川口 種満
市民環境部長	中川 貴志
経済建設部長	山田 一弘
水道部長	小山 陽央
美来創生局長	前川 正弘
会計管理者	平井 佳史
消防長	武田 浩二
保険福祉部理事	小野 洋介
木屋平総合支所長	佐古 真澄
企画総務部次長（企画政策課長事務取扱）	吉田 正孝
企画総務部秘書課長	渡邊 晴樹
代表監査委員	喜多 輝光
教育長	村岡 直美

副教育長

大泉 勝嗣

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長

住友 礼子

議会事務局次長

見立 貞治

議会事務局事務副主任

井手 和輝

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

2番 立道 美孝 議員

3番 藤野 克彦 議員

4番 都築 正文 議員

開議 午前10時10分

◎議長（川西 仁議員）

おはようございます。

ただいまの出席議員数は17名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

なお、開会に当たりまして、10分程度遅れましたが、10分程度遅れた内容等につきましては、総務委員会の審査内容の案件につきまして、案件が少々遅れていることがございまして、総務委員会がまだ終わっておりません。総務委員会におきましては、小休中で本会議を再開させていただきましたこと、私のほうより心よりおわびを申し上げる次第でございます。そしてまた、ただいま申しましたように審査途中の案件がございますので、本会議の途中、総務委員会をまた再開をさせていただくという形をとらせていただきますので、ご了承の程をよろしくお願いを申し上げまして、ただいまより本日の会議を開会させていただきますしたいと思います。

本日の議事日程は、お手元にご配付の日程表のとおりでありますので、よろしくお願いを申し上げます。

なお、西村昌義議員より欠席の届け出がございまして、ご報告をさせていただきます。

それでは、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員につきましては、会議規則第88条の規定により、2番 立道美孝議員、3番 藤野克彦議員、4番 都築正文議員を指名させていただきます。

ここで、先程申し上げましたとおり、総務委員会の案件につきまして、審査を途中としておりますので、ここで暫時小休とさせていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

小休いたします。

小休 午前10時12分

再開 午前11時01分

◎議長（川西 仁議員）

小休前に引き続き、会議を続行いたしたいと思います。

議事運営上、大変遅れたことを、この場を持って私のほうよりおわびを申し上げる次第でございます。

それでは、次に、日程第2、議案第70号、美馬市下水道事業の設置等に関する条例の制定についてから、議案第88号、木屋平特産物販売センターの指定管理者の指定についてまでの19件を一括し、議題とさせていただきます。

この件につきましては、所管の常任委員会に付託をしておりましたので、各委員長の報告を求めます。

開催順にお願いをいたしたいと思います。

初めに、産業常任委員会委員長、原政義議員。

◎14番（原 政義議員）

議長、14番。

◎議長（川西 仁議員）

14番、原政義議員。

[14番 原 政義議員 登壇]

◎14番（原 政義議員）

議長のご指名がございましたので、産業常任委員会の審査結果につきましてご報告を申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第71号、美馬市簡易水道事業の設置等に関する条例の制定についての条例案件1件、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分及び議案第79号、平成30年度美馬市水道事業会計補正予算（第2号）の予算案件2件、議案第84号、美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定期間の変更について、議案第85号、美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定について及び議案第88号、木屋平特産物販売センターの指定管理者の指定について、その他案件3件、合計6件について審査のため、去る12月10日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め6名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第71号、美馬市簡易水道事業の設置等に関する条例の制定については、委員から「簡易水道事業の加入世帯と人口は。また、条例制定の詳細は」との質疑がありました。理事者からは、「加入世帯は、木屋平地区の195世帯、給水人口は358人、簡易水道事業については、今年度末まで、従来の条例を運用し、平成31年度からは地方公営企業法の適用となることから、今回、当条例の制定を行うものである」との答弁がありました。

続いて、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分中、農林水産業費では、「シカ肉等処理加工施設備品購入費についての詳細とその用途は。また、処理したシカの数量は」との質疑がありました。理事者からは、「備品は、シカ肉をミンチにする機械、ミキサー、ソーセージ充填機の3種類である。販売先の施設からミンチができないかという要望があり、これまでは肉を中心に加工してきたが、今まで処分していた肉の残渣分をミンチにすることにより、1頭当たりの増収を図ることもできるようになり、また、併せてソーセージの商品開発も考えている。シカの数量は平成29年度は87頭、1,005キログラム、今年度は10月末までで50頭、328キログラムを処理している」との答弁がありました。同じく農林水産業費のため池ハザードマップ作成委託料について、「実施箇所と今後の活用は」との質疑がありました。理事者からは、「今回、マップを作成する箇所は、前回作成済みの9カ所以外で、美馬町、滝の宮池など新たに9カ所である。ハザードマップの作成後は、ホームページに追加掲載し、市民への周知

を行うほか、関係自治会にハザードマップを配布し、災害時の避難等に役立てたい」との答弁がありました。

続いて、議案第84号、美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定期間の変更について及び議案第85号、美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定については、委員から「道の駅みまの里の指定管理期間を2年とした理由は」との質疑がありました。理事者からは、「従前の指定管理者が業務や人材も含め、会社法の適用を受けた新会社に移行したことから、名称は変わるが実質的な変化がない。そのため、新たな指定管理者を指定したが、従前の継続という意味合いで指定管理期間を2年とするものである」との答弁がありました。

また、当委員会は、調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、産業常任委員会委員長の報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

次に、福祉文教常任委員会委員長、郷司千亜紀議員。

◎9番（郷司千亜紀議員）

9番。

◎議長（川西 仁議員）

9番、郷司千亜紀議員。

[9番 郷司千亜紀議員 登壇]

◎9番（郷司千亜紀議員）

議長のご指名がございましたので、福祉文教常任委員会の審査結果につきまして、ご報告を申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第74号、美馬市立幼稚園条例の一部改正について及び議案第75号、美馬市立認定こども園条例の一部改正についての条例案件2件、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分、議案第77号、平成30年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）及び議案第78号、平成30年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）の予算案件3件、議案第80号、学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議についてから議案第83号、工事請負契約の変更について、議案第86号、美馬市脇町西部デイサービスセンターの指定管理者の指定について及び議案第87号、美馬市美馬デイサービスセンターの指定管理者の指定についてまでのその他案件6件、以上の合計11件につきまして、審査のため、去る12月11日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め5名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、当委員会に送付されておりました陳情書等1件につきましては、審査の結果、全議員に写しを配付し、今後の議会活動の参考とすることといたしましたので、よろしくお願いをいたします。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分中、衛生費について委員から「保健センター外壁修繕事業について、その詳細は」との質疑がありました。理事者からは、「修繕の経緯と詳細については、今年の台風で保健センター1階及び2階の各部屋で雨漏りが起こり、原因究明のため専門家に調査をお願いした結果、コンクリート外壁の目地シーリング及びサッシのシーリングが劣化していたことが判明したため、このたび、修繕工事費を計上した。同センターは平成11年に建築し、築後18年が経過しており、今後その他部分で修繕が必要な箇所が出てくることが想定されるが、所管しているほかの施設のことも考慮しながら計画的な修繕を行っていきたい」との答弁がございました。

続いて、議案第82号、美馬西部学校給食センター組合の解散に係る財産処分については、平成31年3月31日をもって同組合が解散することから、委員から「財産処分の負担率の算定根拠など、財産処分についての詳細は」との質疑がありました。理事者からは「本市における財産処分の負担率の算定根拠は、同組合が創設された昭和44年度から平成29年度までの運営費の積み上げ総額に対して、美馬市分の積み上げた運営費の割合で算定されている。また、本市は同組合から、現在美馬小学校及び美馬中学校へ配送している運搬車1台について、負担金を運搬車の残存価格で支払い取得する。そして、最終的につるぎ町が負担する金額と合算した後に、財産処分の負担率に応じて同組合から償還金が返戻されることになっている」との答弁がございました。

続いて、議案第83号、工事請負契約の変更については、穴吹地区認定こども園整備事業に係る工事請負契約の金額を約5,800万円増額する内容となっており、委員からは大幅な増額に対し、詳細な説明を求める質問が多くございました。まず、「追加金額がここまで大きくなった理由は」という質疑に対しまして、理事者からは、詳細な図面や現場写真、イメージ写真を提示しての説明があり、その理由として1点目に、「遊戯室内のレイアウト変更などによる工事の変更及び追加が生じたということ、2点目に、別途発注を予定していた施設南西部の外溝工事の一部が本体工事の工程上、急を要すること及び今後発注を予定している工事の工期を確保する必要があることから本体工事に追加するものである」と答弁がございました。次に委員から「今回、5,800万円を追加すると工事の総額が5億円余りとなるが、ほかの認定こども園と比較して金額は妥当なのか」という質疑に対しまして、理事者からは、「設計金額で比較し、それを平米単価に置きかえると穴吹地区認定こども園が31万2,000円、美馬認定こども園が31万1,000円、江原認定こども園が31万4,000円となり、単純比較では大きな差はない」との答弁がありました。また、追加金額がここまで大きくなったことを問題視する委員が多くあり、今後の取り組みについての質疑がありました。理事者からは、「委員からの指摘を重く受けとめ、今後このような工事については大幅な増額がないよう十分注意したい」との答弁がありました。

次に、当委員会に付託されました請願1件、独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願書につきましては、後程、議題となった際にご報告をさせていただきます。

また、当委員会は調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、福祉文教常任委員会委員長の報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

次に、総務常任委員会委員長、谷明美議員。

◎16番（谷 明美議員）

議長、16番。

◎議長（川西 仁議員）

16番、谷明美議員。

[16番 谷 明美議員 登壇]

◎16番（谷 明美議員）

議長のご指名がございましたので、総務常任委員会の審査結果を報告いたします。

本委員会は、今期定例会において付託されました、議案第70号、美馬市下水道事業の設置等に関する条例の制定について、議案第72号、美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について及び議案第73号、美馬市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正についての条例案件3件、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分の予算案件1件の合計4件についての審査のため、去る12月12日及び本日、定例会前に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め6名であります。

付託されました議案審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第70号、美馬市下水道事業の設置等に関する条例の制定についての中で、委員から、「公共下水道の使用料及び農業集落排水処理施設使用料に係る超過使用水量分の使用料減額措置の廃止について、どのような経緯で廃止するに至ったか」との質疑がありました。理事者からは、「この減額措置は、本市独自の施策であり、子育て支援や公共下水道等の普及促進のため実施していた。しかし、来年4月から国の施策により、地方公営企業法を適用することが決定されることになった。そこで、下水道事業の経営戦略策定を進める中で、事業の健全な経営を行うには、平成25年度から実施していた減額措置を廃止し、本来の使用料額に戻すことが必要ということになった」との答弁がありました。また、「使用している市民への説明や理解については」との質疑に、「使用料の多い施設については、個別で説明に伺う予定としている。また、使用者の皆様には、廃止についての通知文書を送付し、その中に廃止後の使用料の試算方法についても記載し、ご理解、ご協力をいただきたいと考えている」との答弁がありました。更に、「今後の方針として、本事業について、民営化を考えているか」との質疑には、「一部民間に委託し運営しているが、現在は民営化は考えていない。今後においても、公共下水道及び農業集落排水処理施設について、市民の生活環境、自然環境の観点から、本事業の加入促進を図っていく」との答弁がありました。

次に、議案第76号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分では、委員から、公共施設再編整備費の旧脇町老人福祉センター耐震大規模改修事業について、「この耐震工事ではどれぐらいの地震規模を想定し、改修後はどのような施設となるか」との質疑があり、理事者から、「建築基準法の中で示されている震度6強程度までの大地震を想定しての耐震改修であり、改修後は、1階に美馬市社会福祉協議会、美馬市シルバー人材センター、脇町土地改良区、2階に美馬市商工会、3階に脇町児童クラブが入る予定で、他に会議室等がある」との答弁がありました。また、委員から、「その設備予算の2億9,306万円の中で、その他財源として上がっている910万円の内容は」との質疑がありました。理事者からは、「2階に美馬市商工会が区分所有する事務所があり、その箇所の改修に係る工事費の負担金である」との答弁がありました。更に、「美馬市商工会との協議について、本市との取り決め内容は」との質疑があり、理事者から、「当該施設設備に係る工事内容や負担金、その他協議が必要な事項については、着工までに書面による確認を行い、完成後の管理運営事項についても両者が誠意を持って協議することを確認している」との答弁がありました。

次に、備品購入費の中で卓上型対話支援システム購入費について、「脇町市民サービスセンターの窓口に配置するとのことであるが、どのようなものか」との質疑に、「当窓口は、地域交流センターミライズにあるため、様々な用事で訪れる方が多く、職員の声が聞き取りにくい方に大きな声で説明しているため、プライバシーを守る観点からも聞き取りやすい機具を購入し、市民へのサービス向上を図るものである」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、総務常任委員会委員長の報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

以上で、各常任委員会の委員長報告は終わりました。

これより、ただいまの各委員長に対します質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告がありませんので、質疑なしと認め、委員長報告に対します質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ、討論につきましても通告がないので、討論なしと認め、討論を終結させていただきます。

これより、採決をいたします。

議案第70号、美馬市下水道事業の設置等に関する条例の制定についてから、議案第88号、木屋平特産物販売センターの指定管理者の指定についてまでの19件につきまして一括採決を行います。

議案第70号から議案第88号までの19件につきましては、各委員長報告につきましては原案可決でございます。

お諮りいたします。議案第70号から議案第88号までの19件については、各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

異議なしと認めます。よって、議案第70号から議案第88号までの19件につきましては、原案のとおり可決をされました。

次に、日程第3、請願第1号、独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願書についてを議題といたします。

この請願につきましては、福祉文教常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めます。

◎9番(郷司千亜紀議員)

9番。

◎議長(川西 仁議員)

福祉文教常任委員会委員長、郷司千亜紀議員。

[9番 郷司千亜紀議員 登壇]

◎9番(郷司千亜紀議員)

議長のご指名がございましたので、請願第1号についての審査結果を報告いたします。

この請願は、去る30年11月6日に徳島病院を守る会の共同世話人、阿部利男氏ほか2名から提出があり、福祉文教常任委員会へ付託されたものであります。紹介議員は原政義議員及び井川英秋議員の2名で、内容については、吉野川市にあります国立病院機構徳島病院が板野町の東徳島医療センターに移転、総合するという基本計画が発表されており、この病院が地域医療に重要な役割を果たしていることから、国などに対し、存続を要望する意見書を決議していただきたいというものです。

審査に当たっては、紹介議員にご出席をいただき、趣旨説明を受けた後、慎重に審査をいたしました結果、全会一致で採択すべきものと決しました。なお、会議規則第143条第1項の規定に基づき、請願審査報告書を議長に提出いたしましたので、ご報告いたします。

以上、請願第1号についての福祉文教常任委員会委員長の審査報告を終わります。

議員各位のご賛同を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

◎議長(川西 仁議員)

以上で福祉文教常任委員会委員長の報告は終わりました。

これより委員長報告に対します質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告がありませんので、質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ、討論につきましても通告がございませんので、討論なしと認め、討論を終結させていただきます。

これより、採決を行います。

請願第1号、独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願書についてですが、本件に対します委員長報告は採択であります。本件について、委員長報告のとおり

り採択することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

異議なしと認めます。よって、請願第1号は、採択することに決しました。

次に、日程第4、発議第2号、独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書についてを議題とさせていただきます。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

福祉文教常任委員長、郷司千亜紀議員。

◎9番(郷司千亜紀議員)

9番。

◎議長(川西 仁議員)

9番、郷司千亜紀議員。

[9番 郷司千亜紀議員 登壇]

◎9番(郷司千亜紀議員)

議長のご指名がございましたので、提案理由の説明をさせていただきます。

ただいま、上程いただきました発議第2号、独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書について、美馬市議会会議規則第14条第2項の規定により、福祉文教常任委員会として提出するものであります。

本文の朗読を省略し、提案理由の説明をいたします。

独立行政法人国立病院機構徳島病院は、昭和20年12月に国立病院療養所として発足し、現在、入院病床300床を運営する四国で唯一の筋ジストロフィーの専門部門を持つ医療施設であり、神経・筋疾患の基幹施設として、また難病医療の拠点施設として研究や実践を行っております。また、平成25年に、大規模災害時に災害拠点病院を支援・補完する役割を担う災害医療支援病院として徳島県から指定され、平時はもとより災害時におきましても、その役割が大いに期待されているところでございます。こうした折、平成30年2月21日、東徳島医療センター及び徳島病院の機能統合に伴う新病院に関する基本構想についてが出され、その中で、徳島病院の機能を東徳島医療センターの地に移転・統合するという構想が発表されました。美馬市民にとっては、先程述べた重要な機能を担う中核的な国立の医療機関が近隣にあることは生活する上での安全・安心につながり、多くの市民が利用されているところでありますので、現在の病院機能を維持した徳島病院の存続を強く要望するものであります。

なお、詳細につきましては、意見書をごらんいただきたいと思います。

以上で提案理由の説明を終わります。

ご審議をいただきまして、ご賛同賜りますようよろしくお願いをいたします。

◎議長(川西 仁議員)

以上で発議の趣旨説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告がございませんので、質疑なしと認めます。そして質疑

を終結いたします。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告がございませんので、討論につきましても討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

お諮りいたします。発議第2号について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

異議なしと認めます。よって、発議第2号は原案のとおり可決されました。

ただいま可決されました意見書につきましては、直ちに関係機関へ送付をさせていただきますと思います。

次に、日程第5、閉会中の継続調査についてを議題とさせていただきます。

お手元にご配付いたしておりますとおり、閉会中の継続調査について、申出書が提出をされております。

お諮りいたします。継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

異議なしと認めます。よって、継続調査につきましては各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することに決定をさせていただきます。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件につきましては議了をいたしました。閉会に当たり、市長よりご挨拶をいただきたいと思います。

◎市長(藤田元治君)

議長。

◎議長(川西 仁議員)

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長(藤田元治君)

平成30年12月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本定例会も本日最終日を迎えました。議員各位におかれましては、市政各般にわたり、終始熱心にご審議を賜り、提案をいたしました議案につきましては、全て原案のとおりご可決をいただき、厚くお礼を申し上げます。

ご審議を通じまして、議員各位から賜りました数々の貴重なご意見、ご提言につきましては、十分に検討いたしまして、市政運営に反映をさせてまいりますと同時に、市民の皆様方にもしっかりと説明責任を果たしてまいります。

さて、昨日と本日の2日間、ミライズの市民ホールにおきまして、「美馬のこどもたち

に「本物の音楽」を」と題し、コンサート事業が実施されております。この事業は、企業版ふるさと納税を活用して実施しているものでございまして、本年度は市内の小学校3年生から6年生までの児童と中学校の全生徒を対象といたしまして、本物の音楽に触れ合う機会を提供しているものであります。本格的な音楽ホールにおきまして、プロの演奏者で編成されたオーケストラが奏でるクラシック音楽を鑑賞する、こういった貴重な経験が未来を担う美馬の子どもたちの豊かな心を育むものと大いに期待をいたしております。

次に、総合計画についてであります。

現行の第2次総合計画は、平成31年度までとなっておりますことから、平成32年度からの10年間を計画期間とする第3次総合計画の策定を進めております。この取り組みとして、まず、去る10月29日には、私を本部長といたします総合計画策定本部の第1回会議を開催し、策定スケジュールの確認を行いました。今回の総合計画は、私が市長に就任後、初めて策定するものでございまして、基本構想の中で位置づけるまちづくりの理念や施策の基本方針につきましても、これまでの理念を引き継ぎつつ、新たに構築してまいりたいと考えております。

具体的な内容は、総合計画審議会での議論を踏まえることとなりますが、市民アンケートやワールドカフェなどを通じ、市民の皆様方のご意見をできるだけ計画に反映すると共に、策定過程においても職員の政策形成能力を向上させるための研修や行政評価制度の再構築も併せて行いたいと考えております。

また、市民アンケートへのご協力や総合計画審議会委員の募集につきましては、広報みま12月号に掲載をしておりますので、市民の皆様方には積極的なご意見やご参加を賜りますようよろしくお願いをいたします。

結びとなりますが、今年もあと残りわずかとなってまいりました。来たるべき新しい年が、議員各位並びに市民の皆様方にとりまして、希望に満ちた輝かしい年でありますことを心からご祈念を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

◎議長（川西 仁議員）

ありがとうございました。

平成30年12月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。議員各位におかれましては、去る11月27日の開会以来、本日までの22日間にわたりまして、終始ご熱心にご審議を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。そして、また全ての案件を議了いただいたことにつきましても、重ねて御礼を申し上げたいと思っております。

なお、市長を始めといたします理事者各位の皆様方におかれましては、審査過程において議員各位より表明されました意見や要望等につきまして、今後の市政運営に十二分に反映をさせていただきますよう、お願いを申し上げる次第でございます。また閉会中におきましても、各委員会の継続調査等が予定をされております。これからは年末を迎え、寒さも厳しくなると思われませんが、皆様方におかれましては、ご健勝にて新春を迎えられ、そしてまた市政発展のため、ますますご活躍を賜りますよう、心よりご祈念を申し上げます。

て、閉会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

以上をもちまして、平成30年12月美馬市議会定例会を閉会させていただきたいと思
います。大変ご苦労さまでございました。

閉会 午前11時40分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年12月18日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 2番

会議録署名議員 3番

会議録署名議員 4番